

1	審議会名	第5回真田地域協議会
2	日時	令和2年11月24日(火) 午後7時00分から午後8時00分まで
3	会場	真田地域自治センター3階 講堂
4	出席者	荒木克子 委員、飯島恵美 委員、石合昌子 委員、荻原美知男 委員、金井由造 委員、金子幸恵 委員、木島徳行 委員、倉嶋幸雄 委員、清水由香 委員、高寺宣安 委員、滝沢博文 委員、中村すみ子 委員、堀内育子 委員、堀内和子 委員、堀内誠 委員、丸山進 委員、皆川克彦 委員、柳沢泉委員、吉池正博 委員
5	市側出席者	山崎センター長、櫻井地域振興課長、杉山市民サービス課長、柳沢産業観光課長、宮沢建設課長、宮崎教育事務所長、柳沢真田消防署長、 上田市上下水道局 小井土上水道課長 真田地域振興課宮崎課長補佐、若林主査、飯島主査、望月主査
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	令和2年11月25日

協議事項等

会議次第

- 1 開会 (滝沢副会長進行)
- 2 会長あいさつ
- 3 センター長あいさつ
- 4 前回決定事項の確認
- 5 報告・確認事項

(1) 真田地域自治センター各課の目標について(中間報告)

- ・ 地域振興課/市民サービス課/産業観光課/建設課/真田教育事務所/真田消防署 各課長から報告

【質問】

(委員) 二点質問したい。一つは災害に関し、広報に1000年に一度の雨が降った時のハザードマップと載っていたが、これは市の進めている防災とか避難訓練とかで披露されているものなのか、どういう位置づけのものなのかを教えてください。二つ目が教育事務所について、ふれあいさなだ館の健全運営について、上田市内に同じような経営の施設はあると思うが、それらに比べて、ふれあいさなだ館の健全度はどのようなものか教えてください。

(地域振興課長) ハザードマップについて、現在皆様お持ちのものは平成29年に作られたもので、委員のおっしゃられた1000年に一度の災害を想定したハザードマップは来年の3月に出来上がる。こちらについては出来上がり次第各自治会等へお配りするものである。これらのハザードマップは自治会、自主防災組織等で災害時の避難範囲等の目安として使っていただければと思っている。また、本年も実施した自主防災リーダー研修を来年も行うつもりなので、ここで新しいハザードマップの詳細について説明していきたいと思っている。

(教育事務所長) ふれあいさなだ館の健全度について、詳細の数字は今持ち合わせていないが、概略として他施設の状況は若干の赤字で済んでいるような状況である。ふれあいさなだ館については温泉プールを併設していることから、その温泉プールの利用料をいただいている、温泉を利用しているお客様からはその料金でプールも使えるということになっている。プールについては、暖房費、人件費、光熱水費等非常に費用がかかっている。それらのことがありさなだ館については赤字が大きくなっている。今年度の予算でいえば、市から7,000万円程度の補填を受けているというような状況になっている。これについては、市内のすべての温泉料金を統一しよう、共通の利用券で入れるようにしようということで決まっている。それ以前ではプールはプールの料金をいただくということができなくな

っているので赤字になっているという状況である。

(委員) 市民サービス課関係だが、可燃ごみを減少させるためには生ごみを減らせばいいということで、「生ゴミ出しません袋」というのを配布するということだが、申請期限が今月末となっていたと思う。その申請期限を延長して来年3月末になったということで、これは申請者が少なかったからということか。近所でも生ゴミ出しません袋の存在さえ知らない人も多く、生ごみを減らすためにはそのPRももっと必要だと思うがどうか。

またもう一点が、書類にはないが老人福祉センターについて、社協が委託管理を受けていると思うが、今のコロナの状況でほとんど利用ができないと聞いている。例えばマッサージの機械が利用できなかったり、お風呂が一人30分ずつなどとなっていたりなどと聞いている。しかし、工夫すればもう少し利用できるのではないかという意見が出た。センターに聞いたら上田市でそのような規制が出ているといわれたが、もう少し緩和はできないものか。

(市民サービス課長) まず生ゴミ出しません袋は、様々広報を行っているところではあるが、真田地域に限って言えば詳細な数値は今もってはいないが昨年度より増えている。そして延長した理由については、委員からも指摘にあった通り、生ごみを減らす運動を継続していくという、自治センターだよりや有線放送、広報うえだでも今後も広報活動を続け、延長していく。

老人センターについて、お風呂とマッサージについては、上田地域の高齢者福祉センターなども、同様にコロナウイルス感染防止策に取り組んでいるところであるが、御指摘の部分についても随時検討しながら、全地域でコロナウイルス感染対策に取り組まなければならないこととあわせて検討していきたい。

(2) つちや水源及び滝の入水源の供給時期について

上田市上下水道局 小井土上水道課長から新水源からの供給時期等について報告

【質問】

(委員) つちや水源と滝の入水源では水質等は同じなのか。

(上水道課長) つちや水源と滝の入水源の、水量・水質については定期的に継続7年ぐらい前から調査を継続している。結論から言うと、つちや水源と滝の入水源で水質は同じです。水で一番特徴が出るのがミネラル分であり、マンガンやナトリウムなどミネラルを構成する、軟水硬水などといういわゆる硬度というミネラル分の量であり、これが水の特徴を決めるものであるが、二つの水源はこれがほとんど同じ量出ている。おそらくこの二つの水は同じ水源であると考えられる。

(委員) つちや水源は日本の名水ともいわれている水源である。それと同じであれば、安心して飲めるというか、おいしい水であると思う。

(3) 次回協議会日程の確認

予定どおり、令和2年12月22日(火)午後7時から第6回地域協議会を開催することを確認した。

(事務局)

地域協議会の任務である調査研究について、次回までに正副会長と事務局でテーマを決め、そのテーマで調査研究の協議を実施すること自体の必要性も含め、第6回協議会でお諮り願いたい。

(4) その他

- ・地域自治センターだより武石から地域協議会だよりの写しを配布
- ・市民参加・協働推進課から令和元年度わがまち魅力アップ応援事業事例集を配布